

令和8年5月14日

各 位

トモニホールディングスグループの令和8年3月期決算概要について

トモニホールディングス（本社：香川県高松市、社長：中村 武）は、令和8年3月期（令和7年4月1日～令和8年3月31日）連結業績等の概要と、当社グループの中核企業である徳島大正銀行（本店：徳島県徳島市、頭取：板東豊彦）及び香川銀行（本店：香川県高松市、頭取：有木 浩）の単体業績等の概要について発表いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. トモニホールディングス
(1) 令和8年3月期（令和7年4月1日～令和8年3月31日）連結業績

経常収益は、貸出金利息の増加により資金運用収益が増加したこと、役務取引等収益が増加したこと、株式等売却益の増加によりその他経常収益が増加したこと等により、前期比9,668百万円増加（10.1%増加）して104,775百万円となりました。経常費用は、預金利息の増加により資金調達費用が増加したことに加えて、取引先企業の事業再生支援等に伴う貸倒引当金繰入額の増加により与信関連費用が増加したこと等により、前期比8,683百万円増加して80,414百万円となりました。その結果、経常利益は、前期比984百万円増加（4.2%増加）して24,360百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比331百万円増加（2.0%増加）して16,163百万円となりました。なお、当期の期末配当金は当初予想どおり1株当たり13円00銭とする予定でありますので、これにより当期の年間配当金は前期より9円50銭増配して1株当たり26円00銭（配当性向31.0%）となります。また、自己株式の取得999百万円を加えた総還元性向は37.1%となります。

当期末における主要勘定残高の状況は、総資産残高は、前期末比1,694億円増加して5兆2,040億円、純資産残高は、前期末比133億円増加して2,973億円となりました。また、譲渡性預金を含む預金等残高は前期末比1,687億円増加して4兆7,130億円、貸出金残高は前期末比1,569億円増加して3兆8,467億円、有価証券残高は前期末比380億円増加して7,732億円となりました。

		令和8年3月期	
			前期比
損益	経常収益	104,775百万円	9,668百万円
	経常費用	80,414百万円	8,683百万円
	経常利益	24,360百万円	984百万円
	親会社株主に帰属する当期純利益	16,163百万円	331百万円
		令和8年3月期末	
			前期末比
主要勘定残高・諸比率	総資産	52,040億円	1,694億円
	純資産	2,973億円	133億円
	預金等（譲渡性預金を含む）	47,130億円	1,687億円
	貸出金	38,467億円	1,569億円
	有価証券	7,732億円	380億円
	自己資本比率（国内基準）	9.45%	△0.01%

(2) 令和9年3月期第2四半期（令和8年4月1日～令和8年9月30日）及び通期（令和8年4月1日～令和9年3月31日）連結業績予想

次期（令和8年4月1日から令和9年3月31日まで）の業績につきましては、経常利益は、前期比2,240百万円増加（9.1%増加）して26,600百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比1,687百万円増加（10.4%増加）して17,850百万円を見込んでおります。また、次期の配当につきましては、本日公表しております株主還元方針（令和10年度までに配当性向35%以上、総還元性向40%以上へ段階的に引き上げ）に基づき、1株当たり年間配当金は前期に比べて4円00銭増配の30円00銭（中間・期末配当とも各々15円00銭、配当性向32.2%）を見込んでおります。これにより、6期連続の増配となる見込みであります。

① 令和9年3月期第2四半期

（単位：百万円）

	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益
令和9年3月期第2四半期	12,650	8,250

② 令和9年3月期通期

（単位：百万円）

	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
令和9年3月期通期	26,600	17,850

2. 徳島大正銀行

(1) 令和8年3月期(令和7年4月1日~令和8年3月31日)単体業績

当期における損益状況は、経常収益は、貸出金利息、預け金利息及び役員取引等収益が増加したこと等により、前期比2,406百万円増加して54,140百万円となりました。

また、上記要因に加え、外貨調達に伴う外国為替売買損が減少したこと等により、コア業務粗利益は、前期比3,285百万円増加して37,413百万円となり、銀行本業の収益を示すコア業務純益は、前期比3,181百万円増加して18,724百万円となりました。

経常利益は、第2四半期に発生した取引先企業の会社更生法適用申請に伴う貸倒引当金の計上で与信関連費用は増加したものの、前期比964百万円増加して13,296百万円となり、当期純利益は、前期比679百万円増加して8,978百万円となりました。

当期末における主要勘定残高の状況は、譲渡性預金を含む預金等残高は、個人・法人預金ともに増加し、前期末比667億円増加して2兆5,295億円となりました。預り資産を加えた総預り資産残高は、前期末比913億円増加して2兆7,057億円となりました。また、貸出金残高は、中小企業・個人向け貸出等に積極的に取り組みました結果、前期末比471億円増加して2兆797億円となりました。なお、自己資本比率(国内基準)は8.75%となりました。

金融再生法開示債権額は、前期末比270百万円減少して33,299百万円、総与信に占める割合は1.57%となりました。

		令和8年3月期	
			前期比
損益	経常収益	54,140百万円	2,406百万円
	コア業務粗利益	37,413百万円	3,285百万円
	コア業務純益	18,724百万円	3,181百万円
	経常利益	13,296百万円	964百万円
	当期純利益	8,978百万円	679百万円
	本業利益(外貨調達コスト控除後)	10,821百万円	1,773百万円
	与信関連費用	3,017百万円	1,530百万円
		令和8年3月期末	
			前期末比
主要勘定残高・諸比率	総資産	27,406億円	505億円
	預金等(譲渡性預金を含む)	25,295億円	667億円
	総預り資産	27,057億円	913億円
	貸出金	20,797億円	471億円
	有価証券	3,937億円	54億円
	自己資本比率(国内基準)	8.75%	0.13%
不良債権	金融再生法開示債権額	33,299百万円	△270百万円
	総与信に占める割合	1.57%	△0.05%

(2) 令和9年3月期第2四半期(令和8年4月1日~令和8年9月30日)及び通期(令和8年4月1日~令和9年3月31日)単体業績予想

① 令和9年3月期第2四半期

(単位:百万円)

	経常利益	中間純利益
令和9年3月期第2四半期	7,350	4,850

② 令和9年3月期通期

(単位:百万円)

	経常利益	当期純利益
令和9年3月期通期	15,150	10,000

3. 香川銀行

(1) 令和8年3月期(令和7年4月1日~令和8年3月31日)単体業績

当期における損益状況は、経常収益は、貸出金利息、役務取引等収益及び株式売却益が増加したこと等により、前期比7,078百万円増加して44,168百万円となりました。

また、上記要因に加え、外貨調達に伴う外国為替売買損が減少したこと等により、コア業務粗利益は、前期比2,329百万円増加して29,336百万円となり、銀行本業の収益を示すコア業務純益は、前期比1,918百万円増加して14,281百万円となりました。

経常利益は、与信関連費用が増加したものの、前期比513百万円増加して11,010百万円となり、当期純利益は、前期比221百万円増加して7,402百万円となりました。

当期末における主要勘定残高の状況は、譲渡性預金を含む預金等残高は、個人・法人預金ともに増加し、前期末比1,021億円増加して2兆1,908億円となりました。預り資産を加えた総預り資産残高は、前期末比1,108億円増加して2兆3,458億円となりました。また、貸出金残高は、中小企業・個人向け貸出等に積極的に取り組みました結果、前期末比1,108億円増加して1兆7,763億円となりました。なお、自己資本比率(国内基準)は9.88%となりました。

金融再生法開示債権額は、前期末比7,236百万円増加して39,460百万円、総与信に占める割合は2.16%となりました。

		令和8年3月期	
			前期比
損益	経常収益	44,168百万円	7,078百万円
	コア業務粗利益	29,336百万円	2,329百万円
	コア業務純益	14,281百万円	1,918百万円
	経常利益	11,010百万円	513百万円
	当期純利益	7,402百万円	221百万円
	本業利益(外貨調達コスト控除後)	9,271百万円	1,048百万円
	与信関連費用	6,379百万円	4,251百万円
		令和8年3月期末	
			前期末比
主要勘定残高・諸比率	総資産	24,500億円	1,156億円
	預金等(譲渡性預金を含む)	21,908億円	1,021億円
	総預り資産	23,458億円	1,108億円
	貸出金	17,763億円	1,108億円
	有価証券	3,778億円	323億円
	自己資本比率(国内基準)	9.88%	△0.19%
不良債権	金融再生法開示債権額	39,460百万円	7,236百万円
	総与信に占める割合	2.16%	0.28%

(2) 令和9年3月期第2四半期(令和8年4月1日~令和8年9月30日)及び通期(令和8年4月1日~令和9年3月31日)単体業績予想

① 令和9年3月期第2四半期

(単位:百万円)

	経常利益	中間純利益
令和9年3月期第2四半期	5,200	3,350

② 令和9年3月期通期

(単位:百万円)

	経常利益	当期純利益
令和9年3月期通期	10,950	7,400

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

トモニホールディングス株式会社 経営企画部
株式会社徳島大正銀行 企画部
株式会社香川銀行 総合企画部

TEL: 087-812-0102
TEL: 088-656-1118
TEL: 087-812-5132